

吉田修一

『パレード』

李相日

『フラガール』

久石 譲

『おくりびと』

至高の才能が贈る 本年度最高の 感動作が誕生！

芥川賞作家・吉田修一の最高傑作「悪人」が待望の映画化。吉田自ら「代表作」と語る本作は、発売と同時に各メディアの絶賛と大きな話題をよび、第61回毎日出版文化賞、第34回大佛次郎賞をダブル受賞しベストセラーとなった。ひとつの殺人事件、殺した男と愛した女。引き裂かれた家族。さまざまな視点から事件の真相が明らかになるにつれ、読者はある疑問にたどりつく。

「いったい誰が本当の“悪人”なのか」と。悪意にまみれたこの現代の中で、ひとは何に生きて生きたいのか。この究極のヒューマンドラマに胸を打たれた日本を代表する10人の映画監督が映画化を熱望し、20社以上に亘る映画化権争奪戦となった。そして本作を監督するのは「フラガール」で日本アカデミー賞を初め、各賞を総ナメにした李相日。人間の善悪を深くえぐる演出で豪華キャストの魅力を最大限引き出している。また、原作者である吉田修一自身が、李監督と共に初めて手掛けた映画脚本は、重厚な原作の世界を映画的な魅力に昇華させることに成功した。音楽には、巨匠・久石譲が参加。数多くの宮崎駿作品、北野武作品を手がけ、「おくりびと」の大ヒットも記憶に新しい世界的な作曲家による、奥深く切ない音楽が映画にさらなる深い感動を加味する。「悪人」に呼び寄せられた至高の才能たちが、映画史に残る感動のヒューマンドラマを誕生させた。

妻夫木聡が出演を切望 「悪人」に魅せられた 実力派豪華キャストが集結！

主演は妻夫木聡。「ジョゼと虎と魚たち」「涙そうそう」など秀作・ヒット作に主演し、昨年の大河ドラマ「天地人」で今や国民的俳優となった妻夫木が原作を読み感銘を受け、いままでのイメージを覆す“悪人”役に名乗りを上げた。殺人犯・清水祐一役を役柄としては初めての金髪で熱演している。また、祐一との許されぬ愛に溺れ、ともに逃げることになるヒロイン・馬込光代役に、年齢・性別を超えた人気を誇る演技派女優の深津絵里。殺人事件の鍵を握る大学生・増尾圭吾役に岡田将生、被害者のOL・石橋佳乃役に満島ひかり、その父親・石橋佳男役に柄本明、そして殺人犯・祐一の祖母・清水房枝役に樹木希林といった実力派豪華キャストが集結。その他にも、宮崎美子、光石研、余貴美子、井川比佐志、塩見三省、松尾スズキといったベテランの演技派俳優陣が脇を固めている。「悪人」に魅せられ、熱い想いを持って映画に参加した日本映画界を代表する豪華キャストの迫真の演技は、紛れもなく本作の最大の魅力となっている。

STORY

土木作業員の清水祐一(妻夫木聡)は、長崎の外れのさびれた漁村で生まれ育ち、恋人も友人もなく、祖父母の面倒をみながら暮らしていた。車だけが趣味で、何が楽しくて生きているのかわからない青年。

佐賀の紳士服量販店に勤める馬込光代(深津絵里)は、妹と2人で暮らすアパートと職場の往復だけの退屈な毎日を送っていた。

「本気で誰かに会いたかった…」
孤独な魂を抱えた2人は偶然出会い、刹那的な愛にその身を焦がす。しかし、祐一はたったひとつ光代に話していない秘密があった。彼は、連日ニュースを賑わせていた殺人事件の犯人だった。

「もっと早く出会ってれば良かった…」
そんな祐一の自首を止めたのは光代だった。殺人犯との許されぬ愛…。生まれて初めて人を愛する喜びに満たされる光代は、祐一と共に絶望的な逃避行へと向かう。

やがて地の果てとも思える灯台に逃げ込んだ2人は幸せなひとときを迎えるが、その逃避行が生んだ波紋は被害者の家族、加害者の家族の人生をも飲み込んでいく。

なぜ祐一は人を殺したのか？なぜ光代は殺人者愛したのか？引き裂かれた家族の運命はどうなるのか？絶望のどん底に突き落とされた人間たちが、善悪の葛藤のなかでもがき、そしてその先にひとつの謎が生まれる。

いったい誰が本当の“悪人”なのか？その答えが明かされたとき、物語は、衝撃と感動のクライマックスを迎える。

悪人

人物相関図



本気で誰かと会いたかった
馬込光代 (深津絵里)
佐賀の紳士服量販店で働く販売員。妹と2人で暮らすアパートと職場の往復だけの退屈な毎日を送っていたが、祐一と出会い刹那的な愛にその身を焦がす。逃避行をともしする祐一の姿に何をみたのか？そしてなぜ祐一を愛したのか？

逃亡



もっと早く出会ってれば良かった
清水祐一 (妻夫木聡)
長崎に住む土木作業員。金髪の風体で白いスポーツカーを乗り回す得体的なOL・佳乃を殺し、その後出会った光代と逃走に及ぶ。なぜ殺したのか？なぜ逃げるのか？事件の真相に迫るうちに、哀しき闇が明らかになってくる。

殺害



あの人、運転とセックスだけはうまいだけだね
石橋佳乃 (満島ひかり)
福岡の保険会社に勤めるOL。祐一と関係を持ちつつ、増尾に思いを寄せている。三瀬峠で死体で見つかる。

恋



祐一は…私が育てた私の子やけん
清水房枝 (樹木希林)
祐一の祖母。幼い頃祐一を捨てた娘に代わって漁村で働きながら育ててきたが、その祐一が殺人を犯し逃けていることを知り、追いつめられていく…。

祖母



誰がお前をこんな目に遭わせた…絶対に許さん
石橋佳男 (柄本明)
久留米で小さな理容店を営む。娘が殺され、かつ出会い系サイトで売春行為を行っていたことまで判明し、妻との関係が崩壊していく…。

父

誰が本当の“悪人”なのか？

